



スタディサプリ

講義動画+テキストを週末課題に。 合格するまで行う小テストで学力定着を

日本福祉大学付属高校 (愛知・私立)

取材・文／丸山佳子



左から
進路指導部長 地歴公民科
松永太志先生
2年学年主任 数学科
岡部道宣先生
ICT委員長 数学科主任
君塚 磨先生
2年進路担当 数学科
はじ
樋 秋晴先生

School Data

創立1958年 / 普通科
生徒数493人(男子188人、女子305人)
進路状況(2016年3月実績)
大学進学(日本福祉大学72人、他大学27人)、短大進学9人、
専各進学38人、就職16人、その他7人
TEL 0569-87-2311
URL <http://www.n-fukushi.ac.jp/koukou>

■「スタディサプリ」の活用

● キャリア開発の授業で苦手克服に

取材した日は、キャリア開発の授業で1年生が英語、2年生が数学の苦手克服に取り組んでいた。進みが悪い生徒には、先生が面談を行う。



● 生徒の講義動画視聴状況は管理画面で把握

「導入1年目は十分に視聴の管理をすることができませんでした。それを解決してくれたのが、学習管理画面「For Teachers」。宿題の配信から提出までが視覚化され、格段に指導がしやすくなりました。本校では動画の視聴、確認テスト、テキスト提出が宿題です。そのため、きちんと動画視聴が100%であるかまでチェックします」と松永先生。写真が、その画面。



● 1、2年生は、数学の週末課題として活用

なかでも厳しいのが1年生数学の週末課題。講義動画の視聴とテキスト書き込みを月曜に提出し、火曜からの課題部分小テストは、合格するまで居残り。テキストを提出しても、写真のように公式を解いた痕跡がなければ合格点がもらえない。



● 1年で苦手を克服し、国立大学を目指す!



「入学直後に“到達度テスト”で自分の学力や苦手分野を把握できたことで、目標をもって勉強に取り組めるようになりました。何度も見直すことができる講義動画は、わからない部分の理解を深めてくれるだけでなく、数学の公式や英文法を覚えるときにも便利。とても使いやすいです」(1年・横山 光くん)

● 2年生になって活用範囲が広がった!

「1年生のときは使い方を覚え、数学と英語の苦手克服だけで精一杯でした。ところが2年生になって他の講義動画を見てみると、日本史がすごく面白かった。それがきっかけで、今では現代社会や国語、英検対策や進路研究にも活用しています。使わないのはもったいない!」(2年文理コース・野田拓海くん)



「到達度テスト」を活用した1年生の学び直しは、進路指導部が主導する授業「キャリア開発」の取り組みとして開始しました。導入1年目は、講義動画の視聴状況を管理するのが難しい、本当に生徒が力

教育改革を目指す同校では、2015年から「スタディサプリ」を導入してきた。目的は大きく2つ。1年生で中学範囲の学び直しを行い、学校全体の学力の底上げに結びつけること。2、3年「文理コース」に関しては、受験学力を養成し、進学実績の向上を目指すことだ。

導入1年目の試行錯誤から独自の活用法が誕生

2018年に創立60周年を迎える日本福祉大学付属高校は、さまざまな進路の生徒が集まる多様校。これまでは2年次から分かれるコースを「文理」「福祉社会」「国際・英語」としてきたが、高大接続改革の動向を踏まえ、2017年4月からは「文理」「総合進学」「グローバル英語」に改編。生徒自らが進路を切り拓ける、新たな教育を目指している。

「数学I・Aをマスターさせることが本校の一番の課題です。数学の公式は書いて覚えるもの。講義動画の視聴だけでなく、数学のこだわりは大切にしました」(昨年度1年生学年主任・岡部道宣先生)。「数学科でテキストをダウンロードし、印刷するのは大変でしたが、書き

学力が身に付く学習方法をマネジメントすることが大切

「ICTを活用した講義動画視聴だけでなく、付属のテキストを使った従来の学習方法も重視する。この方法は、昨年度の1年生と数学科が、導入1年目の試行錯誤から導き出した答えだったという。

ICTを活用した講義動画視聴だけでなく、付属のテキストを使った従来の学習方法も重視する。この方法は、昨年度の1年生と数学科が、導入1年目の試行錯誤から導き出した答えだったという。

「今年度は新コーススタート。「スタディサプリ」の活用を進路実績につなげることが今年の課題です」と松永先生は言う。

「小テストはわずか5問ですが、初回合格は半数程度。居残りテスト用に講義動画を再視聴もさせ、全員が満点を取れるまで付き合います。生徒たちは追い込まれればやる。満点が取れば自信になる。いかにして勉強させるか。そのマネジメントが、教員の役割です」と数学科主任の君塚磨先生。

「今年度は新コーススタート。「スタディサプリ」の活用を進路実績につなげることが今年の課題です」と松永先生は言う。